



奈良県支部初めての試みとして、奈良県司法書士会様・社会福祉法人奈良県共同募金会様と共同で相続・遺贈セミナーを開催しました。相続に関する法律・仕組みと遺言による財産分与について、専門家である司法書士さんからの説明の他、無料個別相談も実施しました。あわせて遺贈先として考えていただけよう赤十字や共同募金会の活動や寄附金の使われ方なども紹介しました。

相続・遺贈セミナー

9月20日（土）@県社会福祉総合センター



長島愛生園に入所されている奈良県人会の中尾会長と交流をおこないました。ハンセン病などの説明や大和ハーブの演奏と共に、全員で「ふるさと」と「椰子の実」を合唱しました。午後からは邑久光明園へ移動し、学芸員の方に資料館と納骨堂や二つの棧橋、監禁室などの説明を受けながら見学をおこないました。

ハンセン病療養施設訪問

9月30日（火）@岡山県国立療養所長島愛生園・邑久光明園



奈良県有功会の会員相互の親睦を目的とした日帰り研修として、大阪・関西万博の視察をおこないました。日頃より赤十字活動へ深いご理解とご支援をいただいている有功会会員の皆さまに、今一度、赤十字の理念や活動に触れていただく機会となりました。また、日赤やパソナのパビリオン、大屋根リングからの一望など万博を満喫しながら、会員同士の交流が深まる有意義な時間となりました。

有功会日帰り研修

10月2日（木）@大阪・関西万博



「消防防災フェア～2025in イオンモール大和郡山 with 赤十字フェスタ 2025in なら」を開催しました。今回、近隣の消防機関と合同にて開催しました。心肺蘇生の体験、工作コーナー、車両展示（救急車・災害救援車）、子ども用救護服・ナース服の着用、献血などを実施しました。またハートラちゃん・けんけつちゃんも登場しました。スタンプラリーと引換可能な消防と日赤のオリジナルグッズの詰め合わせは大反響でした。

赤十字フェスタ 2025 in なら

10月11日（土）@イオンモール大和郡山



国内外の青少年赤十字メンバーが交流を深め、「国際理解・親善」を促進することを目的とし、青少年赤十字国際交流事業を実施しました。奈良県支部では、パキスタン青少年赤新月メンバー2名を受け入れました。滞在中は、県内の加盟校である学校を訪問し、互いの文化や日頃の活動について研究発表や交流、血液センターでは献血の流れや血液製剤について学び、地域奉仕団交流会では折り紙体験などを通して親睦を深めました。さらに、東大寺や春日大社を訪れ日本の歴史文化にも触れました。最終日は東京で他国メンバーと合流し「人道危機」や「気候変動」に関する研修に参加しました。

青少年赤十字国際交流事業（受入）

10月25日（土）～30日（木）@奈良県支部



三宅町体育館で行われた避難所運営訓練に、覚書を締結している市立奈良病院が救護班を編成し災害診療をおこない、中和保健医療福祉調整本部会議に医師が出席し、活動報告や必要な支援についての報告をおこないました。また、第二浄化センターで実施されたDMAT訓練では、ボランティアと支部職員が協力してテント設営を行い、災害対応における協働体制を確認しました。

近畿府県合同防災訓練

10月26日（日）@奈良県内



県内から48名の奉仕団員の方々が集まり、午前中はパキスタン青少年赤新月メンバーとの交流（パキスタン青少年赤新月メンバー紹介を講義形式で実施、日本文化を伝えるということを目的として奉仕団員と一緒に折り紙で鶴の作成）をおこない、午後からは国際事業の一環として支部職員がジブチの小学校を訪問する際のお土産として、ハートラちゃんのマスコット作りを行いました。奉仕団員が、海外の赤十字社や赤新月社と関わる機会が今まであまりなかったため、有意義な交流会となりました。

地域赤十字奉仕団交流会

10月29日（水）@奈良県支部



日本赤十字社の気候変動対応事業の現地調査として奈良県支部職員1名をジブチ共和国へ派遣しました。この事業は、気候変動による猛暑や環境リスクに直面する地域において、学校やコミュニティでの環境保全や防災に関する学びと行動を促進し、暮らしと地球環境の両方を守る持続可能な地域づくりを推進するものです。現地では小中学校の赤十字クラブに所属している子どもたちを対象に防災セミナーの開催、農地予定の場所でのヒアリング調査やプロジェクト内容の説明、生活の様子の見学などをおこないました。

国際救援・開発協力要員

11月7日（金）～12日（水）@ジブチ共和国



学校や企業・団体、自治会などに向けて日赤の防災セミナーを行う“防災教育事業指導者”を育てる研修を行いました。研修の中では実際にグループワークを行い、受講者の目線を体験してもらいました。今回 12 名の方に新たに指導者に加わっていただき、県内各地で防災セミナーの普及にご協力いただきます。

防災教育事業指導者養成研修会
11月8日(土)～9日(日) @奈良県支部



将来リーダーとして活動が期待される団員を対象に、必要な知識や技術を身につけ、今後の活動に活かすことを目的に毎年第4ブロック(近畿2府4県)で持ちまわりで、実施しています。1日目は赤十字の歴史や基本原則、国際人道法について理解を深め、ワークを通してコミュニケーションやリーダー像について学びました。夜には各団の活動内容や課題を共有し、意見交換を行いました。2日目は「災害・防災」「国際理解」「赤十字の啓発」をテーマに、グループで活動計画案を作成しました。

第4ブロック青年赤十字奉仕団リーダー養成研修会
11月15日(土)～16日(日) @大和郡山市南部公民館



地域赤十字奉仕団及び青年赤十字奉仕団の合計 21 団、総勢 174 名が、スーパーや駅前、市役所などの県内各地で募金活動を実施しました。集まった募金は①紛争に伴う難民・避難民などへの対応 ②頻発、激甚化する災害への対応 ③人々のレジリエンスを強化するための取り組み、の3つの軸を基に、世界各地に広がる赤十字のネットワークを生かした人道支援に活用されます。

NHK 海外たすけあいキャンペーン
12月1日(月)～25日(木) @奈良県内



コース内において、救護所等で看護赤十字奉仕団が他職種の方々とともに救護活動にあたりました。また、無線・救護奉仕団及び支部職員がフィールド内のテント設営等でも協力をおこないました。

奈良マラソン(救護活動)
12月14日(日) @奈良県内



赤十字や防災についてクイズ形式で学ぶ「防災クイズ」、家の危険な場所を知り、いのちを守るための家具の安全対策を学ぶ「うちのきけん」をおこないました。
また、災害時に活躍する無線通信や非常食作りの体験、災害時に配慮が必要な高齢者の気持ちを考えられる「高齢者疑似体験」、身近なものを使った応急手当の方法についても学んでもらいました。

親子で学ぶぼうさい教室 2025
1月25日(日) @奈良県支部



県内の各地区委員会委員長及び特別奉仕団委員長、支部指導講師が集まり、協議事項について、出席者同士で意見交換を行いました。

赤十字奉仕団支部委員会
2月19日(木) @奈良県支部



15名の役員の方に出席いただき、有功会理事会を開催しました。会議では、役員任期満了に伴う改選(案)、令和8年度有功会事業計画、予算(案)、第61回有功会総会開催(案)について、審議いただきました。

有功会理事会
3月26日(木) @ホテル尾花



地域赤十字奉仕団、安全法指導赤十字奉仕団、無線・救護赤十字奉仕団、青年赤十字連絡協議会、青少年赤十字賛助奉仕団、奈良県青少年赤十字指導者協議会の相互の「つながり」を深めるために、交流会を開催し、総勢84名が参加しました。各団の取り組み内容をグループごとに共有し、お互いがどのような活動を日頃行っているのかを知り、どのようなコラボができるかなどを考えるワークをおこないました。
午後からは、活動体験と題して、香芝市赤十字奉仕団が地域での防災講習の際に披露している紙芝居の実演と、無線・救護赤十字奉仕団による無線機体験を実施しました。

奉仕団交流会
3月7日(土) @奈良県支部